

そよげ風

山口市立小郡小学校

No.2 2 学校だより

平成23年9月1日

11月の国語の全国大会へ向けて

校長 上田 保明

今日から二学期が始まりました。長い夏休み、大きな事故もなく本日を迎えられるのも保護者、地域の皆様のご支援の賜と感謝申し上げます。

さて、8月の末、6年生を対象に「市長さんと語る」と称して「省エネ・節電」についての体験学習会がありました。上郷小、小郡南小そして本校と3校から30数人が集まり、本校からは9人が参加しました。発電の仕組みや電気の起こし方（磁力・風力など）を体験し、電気を起こすにはエネルギーが多く必要であることを知り、その後学習会があり市長さんと省エネ・節電の必要性やその方法を話し合いました。本校から参加した9人も発言し市長さんとの会話を楽しんでいました。

会の終了の挨拶で市長さんが「みんな夏休み疲れなのか元気がないね。もっと大きな声で発言するといいね。」とおっしゃいました。確かに後ろで聞いていてもほとんどの子供が良いことを言っているのに発言内容が聞き取れず何度も聞き返される場面がありました。参観なさっていた保護者の方も同感の様でした。3校の子供が初めて出会う者同士であったり、市長さんや保護者の目もあたりして気恥ずかしさもあったのかもわかりませんが、それにしても・・・

コミュニケーションの第一歩は声を発すること、自分の思いを身体で表現することから始まります。だから挨拶をしようと指導しています。その挨拶も相手に届かなければ価値が薄まります。だからその場にあった声の大きさが必要なのです。国際化の中で堂々と諸外国の人とも接することのできる日本人の育成をめざして本校では「自分の思いや考えをもち、学び合いを通して深い読み取りのできる子供の育成 ～伝え合い高まり合う授業を創る～」を研究テーマとしています。国語の教科を通して、主体的に学び、たくましく生きる子供を育てるために、我々教師は何をしたらよいかを追求しています。

11月25日（金）には、本校で第50回全国国語科教育研究大会を開催し18学級で授業公開をします。全国からの授業者・山口県の授業者そして本校職員が腕を競って授業を行います。指導者の腕の競い合いもさることながら、競い合いたいのは子供たちの活躍です。自分の考えをしっかりと持って場にあった声の大きさと堂々と意見を述べ合い、知恵を獲得していく姿を示したいと思っています。

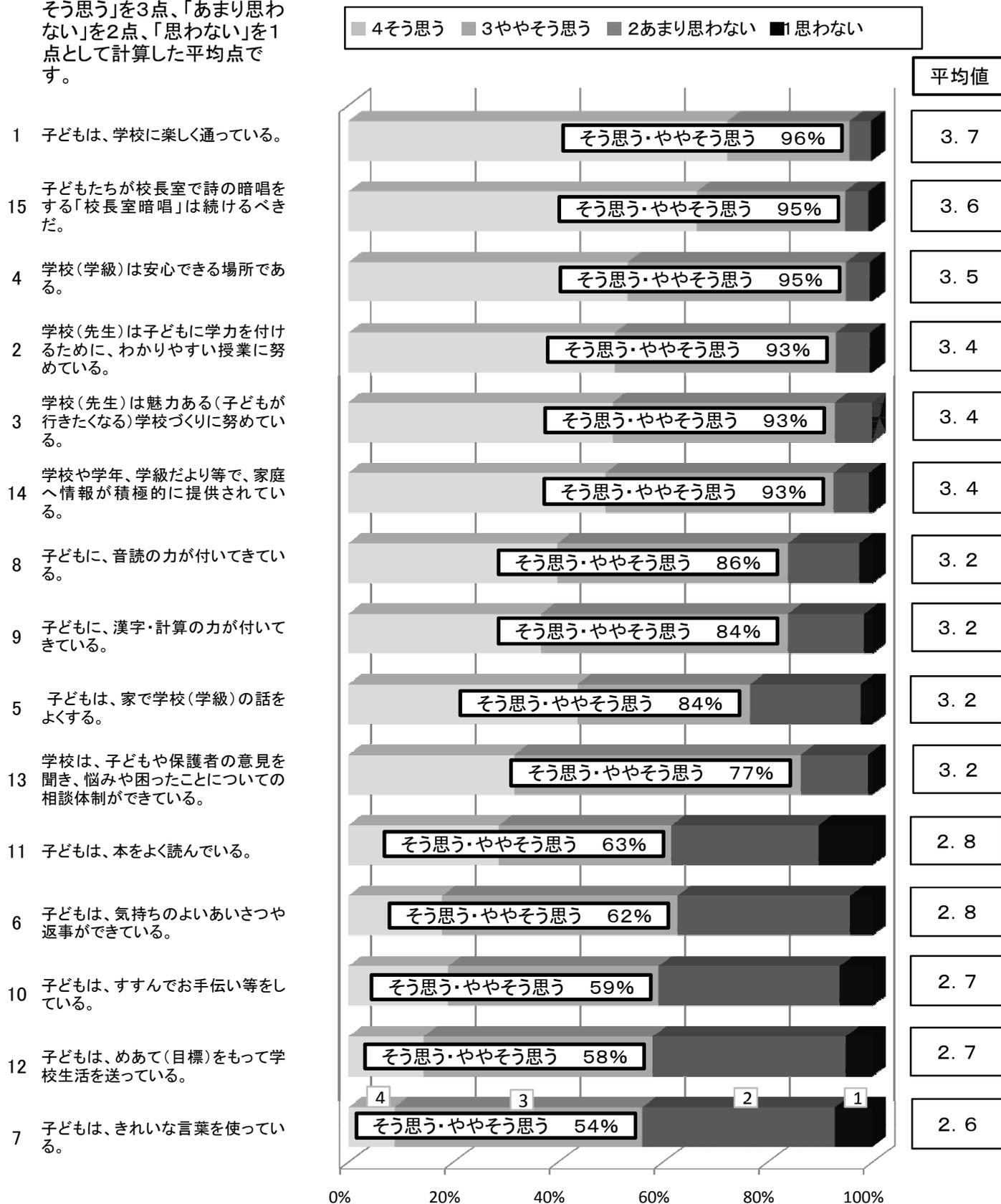
お願いがあります。子供たちが声を出すことが一番です。家では音読をしっかりと、また地域では挨拶をきちんとできるように声掛けをお願いしたいのです。場にあった声の大きさと話のできる子供を生活の中でも育てたいと思います。大会では全国の先生方に“小郡小学校ここにあり”と言えるように。

「学校評価」保護者アンケート結果について

保護者の皆様には7月に行いました、「よりよい学校づくりのためのアンケート」へのご協力ありがとうございました。446枚(回収率84%)ご回答いただきましたアンケート集計結果についてお知らせいたします。

※グラフ右の「平均値」とは、「そう思う」を4点とし、「ややそう思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「思わない」を1点として計算した平均点です。

保護者アンケート結果



「保護者アンケート」についての考察

本年度は、ポイントの高い順にグラフを並べてみました。初めに、成果の上がっている項目について、次に課題、最後にまとめという形で考察していきます。

1 ここは高ポイントを示しています

(1) 楽しい学校

平均値の最も高かったものは、質問1の「子どもは学校に楽しく通っている」で3.7でした。学校が楽しいということは、最も重要なことだと考えています。子どもたちの居場所があり、そして、子どもたちが力を発揮できる場所が学校にある証拠です。

(2) 校長室暗唱

次にポイントの高かったのは、質問15の校長室暗唱。中間時間や昼休みに子どもたちは詩の朗読をしに校長室を訪れます。そのときの子どもたちの眼はきらきらと輝いています。脳の発達に良い影響を与えていると言われている暗唱に今後とも積極的に取り組んでほしいと思っています。

(3) 安心できる場所になっている学校(学級)

次にポイントの高かったのは、質問4の「学校(学級)は安心できる場所である」の項目でした。安心できるというのは、物理的な面だけでなく、精神的な安定ということも要素として大きいと思います。良い友達関係と、良い教師と子どもとの関係があるからこそ高いポイントを示したのだと思います。

(4) 分かりやすい授業

また、質問2と質問3のポイントも高かったことから、教員が分かりやすい授業づくりに努めていることや、子どもたちを引き付ける魅力ある学校づくりに努めていることが評価されたことを嬉しく思っています。

2 課題は・・・

(1) きれいな言葉づかいを

さて、次は課題と思われることについての説明をします。まず、ポイントの一番低かったのはグラフ最下段、質問7の「子どもはきれいな言葉を使っている」の2.6でした。そのときの感情に任せて言葉を発しているとどうなるでしょう。きっと相手は心を傷付けることもあるはずです。こんなことを言ったら相手がどんな気持ちになるかを考えながら言葉を発したいものです。そのためには、心の余裕をもつということも必要なことです。

(2) めあてをもった学校生活を

次にポイントの低かったのは、質問12の「子どもはめあて(目標)をもって学校生活を送っている」でした。将来、こんな仕事をしてみたい、あんな人になりたいという夢をもって努力することは大切なことです。漠然としていた夢やあこがれは、年齢とともに、だんだんと具体的な姿となっていきます。年齢の上昇に伴って、夢が変化していくこともまた、自然なことです。小学校段階では、今年1年間のめあてとか、今学期のめあてなどを設定し、その期間自分が頑張ることを設定してみてもどうでしょうか。その中で、今月頑張ることとか、今週頑張ること、というように少し細かい目標を設定していきます。このようにいくつかの段階の中で、子どもが将来や現在の生活に悩んだときに、親と子どもとの人生を語る対話が生まれてくると良いと思います。

(3) 家でお手伝いに取り組ませよう

次にポイントの低かったのは、質問10の「子どもはすすんでお手伝い等をしている」でした。家で子どもをゆっくりとさせたいという親心は確かに分かりますが、家族の中で、どんな小さなことでも良いから、「家族のために尽くす」という習慣が身に付くと良いと思います。風呂や玄關掃除、草引きなどあまり負担とならないことを課してみてください。そうすれば、手伝い後の達成感や家族の一員として協力することの素晴らしさを味わえると思います。手伝いという経験は、「人のために働くことは気持ち良い」という心を育ててくれると思っています。

(4) 読書の習慣を

また、表中4(そう思う)から1の段階の中で、1の「思わない」の人数が一番多かったのは、質問11の「子どもはよく本を読んでいる」でした。全校で46名に1が付いていました。本を通して、知識を得るだけでなく、思考力や想像力を高めていくことができます。感受性の豊かなこの時期に読書を通して、ぜひ、心を豊かにしていってほしいと思います。

3 終わりに

次のことを考察としてまとめさせていただきました。子育ては、ほめることを基本としながらも、叱るべきときは、きちんと叱ることが大切です。そのようなことを繰り返すうちに、善悪の判断のある人間に成長していきます。子どもたちは、素晴らしい可能性をもっています。さらに、子どもたちが自分の能力を伸ばせるよう、今後とも家庭と学校が手を取り合って子育てに取り組んでいきたいと思っています。

9月の行事予定

10月の行事予定

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	木	始業式（13：20）下校 給食開始	1	土	山口国体開幕
8	木	給食集金日 校内科学作品展（～9日）	4	火	全校朝会 ALT来校 代表委員会
12	月	委員会活動	5	水	国体成年女子バレー練習会場 （～7日まで体育館使用不可）
13	火	にこにこタイム	6	木	6年修学旅行（～7日）
14	水	2年校外学習 5・6年国体見学	7	金	4年遠足
15	木	学年集金日	10	月	体育の日
19	月	敬老の日	11	火	青少年劇場
20	火	5年自然体験学習（徳佐～22日）	15	土	小郡小ふれあいフェスタ
23	金	秋分の日	17	月	委員会活動 ALT来校 教育実習
24	土	山口市科学展（～25日）	19	水	学友区児童会
26	月	クラブ活動 ALT来校	20	木	2年遠足
27	火	6年学力調査	21	金	3年社会見学
29	木	一日フリー参観（2～5校時） 薬物ダメ絶対教室 給食試食会 6年PTAふれあい活動	22	土	山口大会開幕（全国障害者スポーツ大会～24日）
			24	月	クラブ活動
			25	火	にこにこタイム
			27	木	学年集金日 ALT来校
28	金	サイエンス山口（～11月13日）			

<お礼>

夏休みも終わりに近付いた8月21日（日）、全校登校日・PTA奉仕作業を実施しました。子どもたちは朝から、夏休み中に制作した作品などを大事そうに持参し、久しぶりに再会した友達と談笑の輪を作っていました。

PTA奉仕作業では、1年生と6年生の保護者の皆様のご協力の下、校舎内外が見違えるほどきれいになりました。ご協力いただきました保護者の皆様ありがとうございました。ガラスふき、トイレ掃除、じゅうたんへの掃除機かけ、蛍光灯ふき等、普段子どもたちでは行き届かない所をていねいに掃除していただきました。

朝方は、あいにくの雨模様でしたが、作業後半は、天気も回復し、本校職員が事前に刈っていた草集めも実施することができました。また、終了後は、おやじの会のみなさんによって教材園周辺の溝掃除もしていただきました。この部分も、子どもの手では難しく、溝の土が気になっていた所でした。蓋を上げ、土をスコップで出し、運び、あっという間にきれいにしていただきました。

「環境は人をつくる」という言葉があります。美しい環境の下で、教職員一同、また新たな心で人づくりに邁進していきたいと思えます。

終わりにになりましたが、度重なる会議と周到な準備の下、当日円滑に実施していただきましたPTA体育部の皆様方に厚くお礼申し上げます。

文責：教頭 水野 昭



体育館の床を一生懸命にふいている1年生たち



音楽室を掃除してくださっている保護者の皆さん